



原爆・福山空襲70周年事業

企画展『原爆を許すな—被爆画家・増田 勉 作品展』

2015年6月10日（水）～7月20日（月）

増田 勉さんの油彩作品のうち、福山市人権平和資料館、ふくやま美術館及び府中市が所蔵する15点を展示します。

増田 勉さんは、1945年（昭和20年）8月6日、第一国民学校教師として生徒150余名を引率し建物疎開の勤務奉仕中に爆心地から1.5km離れた比治山橋付近で被爆。生徒とともに爆風によって吹き飛ばされ、ひどい火傷を負った。

原爆画に増田さんの心をはしらせたのは、「私が生徒を殺したのだ、傷つき死んでいった教え子たちをどうしてやることもできなかった」という教育者としての自責の念と「戦争を聖戦」と教えてきた罪の意識が自分を責め苦しめたからであろう。



自画像（ふくやま美術館蔵）145.5×97.0

「平和を求める武器として描く」というピカソの言葉のように、増田さんは平和を願い、黒い画面で原爆の悲惨さを訴え続けた。

増田さんの絵は、原爆をテーマに、具体的な対象を決めてリアルに描きあげた記録画ではない。被爆体験を通して、自分が肌で感じた原爆への思いを心の赴（おもむ）くままに表現した抽象画であり、一種の心象画である。

〈「被爆画家・増田勉の伝言—原爆を許すな」より抜粋〉

〈主な展示作品〉

- ・自画像
- ・恐怖の火魔
- ・黒い雨
- ・浮流する屍
- ・無残な廃墟
- ・焦熱の死都
- ・目を持つ花
- ・原爆風化
- ・ヒロシマの街
- ・原爆想起

企画展開連事業「絵本ライブ」

『時代をタイムスリップ！

子どもたちの8月6日』

原爆投下で失われた幼い命…。70年前の子どもたちの夢や思いに心を馳（は）せてみましょう。

と き：6月28日（日）10：00～

ところ：福山市人権平和資料館

（☎924-6789）

出 演：種時き人の会

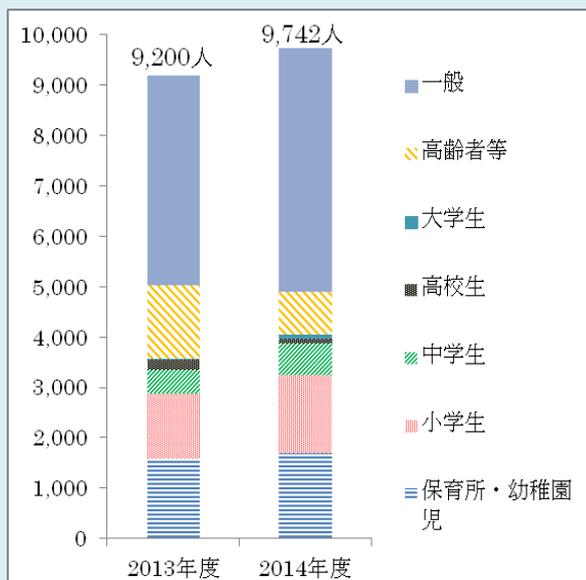
内 容：絵本の朗読や紙芝居など



- ・「さがしています」
 - ・「へいわってすてきだね」
- ほか

入場無料

ありがとうございます。人権平和資料館の2014年度入館者数は9,742人でした。



「ふくやまピース・ナビ」事業の開催や、「親子アニメ上映会」をはじめとする親しみやすい事業を行うことで、入館者数が若干増加しました。

世代別では、高齢者が減少している反面、保育所・幼稚園や小中学生が増加しています。今年も、人権尊重と恒久平和の実現に向け、幅広い世代を対象とした事業に取り組みます。

原爆・福山空襲70周年事業

『福山が燃えた日～リレートーク わたしも聞きたい！話したい！』



と き：5月31日（日）10：00～

ところ：旧霞幼稚園（霞町4丁目6-1）

内 容：福山空襲体験者の方々のお話をもとに、参加者の皆さんと当時の体験や記憶を語り合しましょう。

問い合わせ

福山市人権平和資料館（924-6789）

福山市霞公民館（921-6179）

どなたでも自由に参加できます！

4月の事業から



4月19日の「世界の果ての通学路」上映会には、80人の方の参加がありました。

「ぜひ、日本の子どもたちに見てほしい」との声が多く寄せられました。

4月26日の講演会「聖ザビエル学園の教育支援」では、「教育は最高のプレゼント」とのお話がありました。貧困や紛争という負の連鎖を断ち切るには教育ではないでしょうか。

これからの事業

今年は、被爆・福山空襲から70年。今、平和への市民の皆さまの関心が高まっていると感じています。

5月24日（日）から「ふくやまピース・ラボ」連続講座が始まります。この講座は、若者による平和の研究・発信事業です。

7月から、太平洋戦争勃発の原因や当時の日本の状況など、歴史的視点での講座を予定しています。